

## ～松阪市地域福祉計画実践プランへの思い～

このたび、平成19年度に策定した第1期松阪市地域福祉計画の基本理念「だれもが主役 地域の絆による支え合いのまち松阪」を継承し、より「実践」を重視するため「松阪市地域福祉計画実践プラン」を策定しました。

松阪市地域福祉計画策定委員会においては、地域や各団体で活躍されている方で構成された策定委員のみなさんが、本当に回を重ねていただく中で、「実践プラン」という目的で策定をしていただき、感謝を申し上げます。

しかしながらこれまでご尽力をいただいた重みというのは大きいという一方で、この実践プランを作ってもらうことが役割だとは、私は思っていません。各地域のみなさんがさまざまなかたちで今回議論したことを踏まえて、地域で役割を果たしてもらうことが、重要だと思っています。当然、私たちもここからがスタートですし、ここから本当にこの実践プランをどういうふうに実現していくのかが大切だと考えています。

地域福祉計画策定にあたっては、第2期計画として新たな計画を作ろうという話もありましたが、そうではなくて「具体的に何をするかを決めよう」との方向性のもと、議論の結果「第1期計画をより実践するためのプランを策定する」との方針を決定してきた経過があります。

松阪市地域福祉計画実践プランは、より実践を重視した内容となっています。

この実践プランは、住民協議会をはじめ地域の各団体や一人ひとりの市民が地域のために汗を流していただき、また、それぞれの地域で福祉やまちづくりに対して役割を果たしていただいている策定委員のみなさんも、それぞれの立場でこの計画を各地域に広げていただく中で、みんなで実践していくプランです。

実践にあたっては、市や社会福祉協議会などのサポートチームによる支援体制の機能や、また、実践プランでは前回の第1期計画に組み込まれてなかったチェック体制をどうするのかが一つの基準点であると思います。

実践プランの実現に向け、みなさんとともに歩むなかで、毎年度チェックをしながら、地域と福祉のあり方というものを実践していく段階をスタートしたいと思います。

最後にこの実践プランの策定にあたり、お力をいただきました策定委員の方をはじめ、アンケートや意見募集などご協力をいただきました市民のみなさんに感謝を申し上げますとともに、これから実践プランの実現に向けて、みなさんとともに汗を流していきたいと思っています。



平成25年3月

松阪市長 山中光茂